



## システム管理の概要

---

- ・ [ソフトウェア イメージ](#) (1 ページ)
- ・ [高精度時間プロトコル](#) (1 ページ)
- ・ [Cisco Discovery Protocol](#) (1 ページ)
- ・ [Link Layer Discovery Protocol](#) (2 ページ)
- ・ [Secure Erase](#) (2 ページ)
- ・ [高精度のタイムスタンプング](#) (2 ページ)
- ・ [スイッチド ポート アナライザ](#) (2 ページ)

## ソフトウェア イメージ

Cisco NX-OS ソフトウェアは、1つの NXOS ソフトウェア イメージで構成されています。このイメージは、すべての Cisco Nexus 3550-T スイッチで実行されます。

## 高精度時間プロトコル

高精度時間プロトコル (PTP) は、ネットワークに分散したノード間で時刻同期を行うプロトコルで、IEEE 1588 に定義されています。PTP を使用すると、イーサネット ネットワークを介して 1 マイクロ秒未満の精度で、分散したクロックを同期できます。PTP は、境界クロック機能を備えた IPv4 マルチキャスト、2 ステップマスター、バージョン 2 でのみサポートされます。

## Cisco Discovery Protocol

Cisco Discovery Protocol (CDP) を使用して、デバイスに直接接続されているすべてのシスコ製機器を検出し、情報を表示できます。CDP は、ルータ、ブリッジ、アクセス サーバ、コミュニケーション サーバ、スイッチを含む、シスコ製のあらゆる機器で動作します。CDP は、メディアにもプロトコルにも依存せず、ネイバー デバイスのプロトコル アドレスを収集し、各デバイスのプラットフォームを検出します。CDP の動作はデータリンク層上に限定されます。異なるレイヤ 3 プロトコルをサポートする 2 つのシステムで相互学習が可能です。

## Link Layer Discovery Protocol

リンク層検出プロトコル（LLDP）はベンダーに依存しない、単一方向のデバイス ディスカバリ プロトコルです。このプロトコルでは、ネットワーク上の他のデバイスにネットワーク デバイスから固有の情報をアドバタイズできます。このプロトコルはデータリンク層で動作するため、異なるネットワーク層プロトコルが稼働する2つのシステムで互いの情報を学習できます。LLDPはグローバルに、またはインターフェイスごとにイネーブルにすることができます。

## Secure Erase

Secure Erase 機能は、Nexus 3550-T スイッチのすべての顧客情報を消去します。Secure Erase は、Return Merchandise Authorization（RMA）、アップグレードまたは交換、またはシステムのサポート終了により製品が削除された状態で、Cisco NX-OS デバイス上のすべての識別可能な顧客情報を削除する操作です。

## 高精度のタイムスタンプング

高精度タイムスタンプ（HPT）機能は、Cisco Nexus N3550-T スイッチに入力されるパケットの高精度タイムスタンプを可能にします。タイムスタンプは、パケットがN3550-T前面パネルポートに到着した時刻に対応します。ファブリックを通過するデータパケットのタイムスタンプがサポートされています。この機能は、任意の出力ポートで有効にできます。Rx タイムスタンプとも呼ばれます。

## スイッチド ポート アナライザ

イーサネット スイッチド ポート アナライザ（SPAN）を設定すると、デバイスの入出力トラフィックをモニタできます。SPAN の機能を使用すると、送信元ポートから宛先ポートへのパケットを複製できます。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。